

昭和十八年

ポツケト回記

A
號



聖戰
完遂



昭和十八年

ポケット日記



博文館



重
要
記
事

昭 和 十 八 年 要 記

國の方針之進に違背せし事
 老、老弱ノ念ヲ又ト又 根島ヲ心裁スル事
 スルヲ不承ナキ事 持ノ居事ニハ言ナマシキ事

四方拜 日出 六時五十一分 日没 四時三十八分

時事

晴天 豫記

日 一 月 一 金

此の十日迄、殊に方解、布部、佛、徳、浄、神、以、統、定、
神、此、是、神、一、雲、多、く、日、出、拜、七、分、神、一、之、是、ん
統、臨、く、修、多、く、力、を、奉、告、若、不、及、臨、也、及、先、外
一、名、及、太、田、市、使、志、先、上、同、先、先、及、子、也、百、除、木
司、能、勝、地、也、唯、つ、る、本
先、物、系、つ、ん、所、修、善、居、子、少、修、之、人、其、居、く、善、之、又
且、の、修、く、也、此、は、公、所、向、修、也、一、何、先、自、中、し、う、修、神、心
一、し、強、直、く、ん、地、下、所、也、上、其、取、取、の、中、し、う、の、也
ト、百、之、志、存、志、し、う、念、之、し、う、物、事、也、居、修、神、心、
取、之、故、也、し、う、し、う、之、し、う、修、神、心
夜、修、神、心、以、し、一、是、修、神、心、不、知、子、取、し、う、

時事

晴天 豫記

日 二 月 一 土

此の十日迄、殊に方解、布部、佛、徳、浄、神、以、統、定、
神、此、是、神、一、雲、多、く、日、出、拜、七、分、神、一、之、是、ん
統、臨、く、修、多、く、力、を、奉、告、若、不、及、臨、也、及、先、外
一、名、及、太、田、市、使、志、先、上、同、先、先、及、子、也、百、除、木
司、能、勝、地、也、唯、つ、る、本
先、物、系、つ、ん、所、修、善、居、子、少、修、之、人、其、居、く、善、之、又
且、の、修、く、也、此、は、公、所、向、修、也、一、何、先、自、中、し、う、修、神、心
一、し、強、直、く、ん、地、下、所、也、上、其、取、取、の、中、し、う、の、也
ト、百、之、志、存、志、し、う、念、之、し、う、物、事、也、居、修、神、心、
取、之、故、也、し、う、し、う、之、し、う、修、神、心
夜、修、神、心、以、し、一、是、修、神、心、不、知、子、取、し、う、

時事 日三月一

所感 徳川 天候 晴 暖寒

つらから明渡とて... 日下り... 是石... 一軒... 日向... 長路... 了る... こと... せん... せん... こと... せん...

時事 日一月一

所感 日七 天候 晴 暖寒

物も... 日... こと... せん... せん... こと... せん... せん... こと... せん...

官廳御用始

日七

第北

あを

新年賀書

S 土 3 10 17 24 31 7 14 21 28 4 11 18

時事	晴	氣天	火	一月五日	所感
豫記	晴	暖寒			
本年者、水止化、此、 申と述一、情、冬、冬、 太田、太田、音、音、 候、候、同、冬、 青、冬、四、井、ト、 十、人、井、ト、 慢、漢、下、暖、 カ、エ、	おのゝ言、つ、日、か、お、ふ、つ、道、し、つ、信、を、中、此、と を、何、知、お、希、望、が、天、之、昔、の、幼、幼、の、園、ノ、見、十、時、年 天、之、昔、の、時、ノ、夏、ノ、つ、情、を、お、成、る、久、分、也、 貴、可、今、也、書、信、ト、お、レ、お、イ、多、地、之、 ト、お、一、下、が、お、イ、流、時、ト、お、一、下、の、時、ノ、道、十、三、時 ト、お、お、有、ス、二、時、ノ、時、ノ、外、也、 客、の、お、 何、を、お、言、え、サ、ク、果、ス、お、為、お、念、ノ、有、念、式、 先、お、念、列、ノ、お、念、ノ、お、念、 お、終、 お、念、 仰、お、心、お、念、				

時事	晴	氣天	水	一月六日	所感
豫記	晴	暖寒			
本年者、水止化、此、 申と述一、情、冬、冬、 太田、太田、音、音、 候、候、同、冬、 青、冬、四、井、ト、 十、人、井、ト、 慢、漢、下、暖、 カ、エ、	おのゝ言、つ、日、か、お、ふ、つ、道、し、つ、信、を、中、此、と を、何、知、お、希、望、が、天、之、昔、の、幼、幼、の、園、ノ、見、十、時、年 天、之、昔、の、時、ノ、夏、ノ、つ、情、を、お、成、る、久、分、也、 貴、可、今、也、書、信、ト、お、レ、お、イ、多、地、之、 ト、お、一、下、が、お、イ、流、時、ト、お、一、下、の、時、ノ、道、十、三、時 ト、お、お、有、ス、二、時、ノ、時、ノ、外、也、 客、の、お、 何、を、お、言、え、サ、ク、果、ス、お、為、お、念、ノ、有、念、式、 先、お、念、列、ノ、お、念、ノ、お、念、 お、終、 お、念、 仰、お、心、お、念、				

小寒 後一時五十五分 ●新月 後九時三十八分

所感 日 七 月 一 (木) 時事

豫記 晴

七時五分迄入

クウカノ波々へんじ
 照ルイナレカカカ
 ナク

ハ時ニ居るニ居る、ハ瓦木ト相おせん、云々、
 カラトあ心こゝろ、立鏡ニ市地ナリ、云々、
 目今、十、五日、宿、高、宿、り、利、ナ、教、う、あ、九、日、
 宿、ノ、時、ノ、相、待、ク、在、夕、ノ、可、取、下、ノ、所、也、十、日、
 巴、ヤ、州、中、父、兄、林、州、也、云、本、町、信、公、相、橋、ノ、可、治、
 己、ヨ、ヨ、ヨ、ノ、法、集、宿、ノ、地、味、カ、ナイ、ト、大、堂、云、云、
 一、ノ、可、知、ノ、時、カ、多、ク、一、ノ、出、約、三、十、日、カ、多、ク、
 臥、進、退、ノ、事、し、れ、ゆ、之、下、カ、早、ク、多、ク、一、ノ、治、又、
 取、上、レ、ト、列、百、ノ、越、境、者、ナ、リ、云、云、
 カ、ク、云、云、
 内、向、ニ、ヒ、キ、ツ、レ、ニ、ク、云、云、序、ノ、強、ん、ニ、ノ、治、云、云、

所感 日 八 月 一 (金) 時事

豫記 晴

八時五分迄入

電治ノ所、電ノ所、
 本、八、ノ、七、日、カ、
 又、ノ、七、日、カ、

ハ、時、ニ、居、る、ニ、居、る、
 十、日、カ、
 本、八、ノ、七、日、カ、
 又、ノ、七、日、カ、
 ハ、時、ニ、居、る、ニ、居、る、
 十、日、カ、
 本、八、ノ、七、日、カ、
 又、ノ、七、日、カ、
 ハ、時、ニ、居、る、ニ、居、る、
 十、日、カ、
 本、八、ノ、七、日、カ、
 又、ノ、七、日、カ、

大正... 陸軍...

二月廿八日(卯)後公會新員二

所感	日 九 月 一							時事
	天氣							
	豫							暖寒
	記							

二月廿八日(卯)後公會新員二

所感	日 十 月 一							時事
	天氣							
	豫							暖寒
	記							

5
土
3
7
4
7
4
I
8
4
I
8
5

是月朔... (Handwritten header text)

所感	日 - 十月 - 一月												時事
	氣天												
	雨												
...	...												
...	...												
...	...												

所感	日 - 十月 - 一月												時事
	氣天												
	晴												
...	...												
...	...												
...	...												

所感	氣天	晴	豫	記

前日迄休みの日なり。此日正午外電、讀書の節、
 了らぬ。一、旅立神化、あつた。又、大津音瓶
 リ、茶うし、仁ふ、切、板金印、指、好、せん
 竹、気、波、之、心、整、理、リ、し、之、意、一、物、に、整、然、と
 川、名、の、り、ん、ん、リ、ハ、久、持、守、也、之、中、の
 二、枚、戻、リ、る、中、の、ん、リ、下、張、名、リ、了、リ

所感	氣天	晴	豫	記

此日、小、橋、本、の、正、午、迄、中、八、十、九、時、の、間、
 了らぬ。晴、の、可、記、こ、の、り、ん、ん、リ、ハ、久、持、守、也、之、中、の
 二、枚、戻、リ、る、中、の、ん、リ、下、張、名、リ、了、リ
 此、日、の、改、下、強、山、十、可、入、二、ハ、川、名、の、り、ん、ん、リ、ハ、久、持、守、也、之、中、の
 二、枚、戻、リ、る、中、の、ん、リ、下、張、名、リ、了、リ
 了、り、の、り、ん、ん、リ、ハ、久、持、守、也、之、中、の
 二、枚、戻、リ、る、中、の、ん、リ、下、張、名、リ、了、リ
 了、り、の、り、ん、ん、リ、ハ、久、持、守、也、之、中、の
 二、枚、戻、リ、る、中、の、ん、リ、下、張、名、リ、了、リ

大寒 前七時十九分 ○滿月 後七時四十八分

時事

日一十二月一 (木)

所感

氣天 晴

豫記

Blank space for weather and forecast notes.

八日... 晴... 豫記... 大寒... 前七時十九分... 滿月... 後七時四十八分... 大寒... 前七時十九分... 滿月... 後七時四十八分...

大十二月十日

時事

日十二月二 (金)

所感

氣天 晴

豫記

Blank space for weather and forecast notes.

今日... 晴... 豫記... 大寒... 前七時十九分... 滿月... 後七時四十八分... 大寒... 前七時十九分... 滿月... 後七時四十八分...

大一人十日

時事

一月二十五日

所感

氣天

晴

暖寒

縁

記

アノカニシテ善心
ト原席ノ者ニ之冊
ヲ札ノ上ニ付
師交ス

七時迄休みの時に入りの御事
見舞いノリシゴ三十四ノ利々公定ノあか
マ
十時一ノ看板に之の御事外致佛ノ御事
件ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事
らやうとす
マカセシ
世ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事
マセウ御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事
二トウ御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事
ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事

大一人

時事

一月二十六日

所感

氣天

晴

暖寒

縁

記

今の大工
ハノ御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事
ラズ御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事
ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事
今の中ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事
一ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事
御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事
御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事
仁ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事ノ御事

大三人比甲所二人九時半

時事

天氣

晴

暖寒

豫

記

所感

今の中七冷工夕此風モ心
 八の去結解之のゆか酒一能飲ん下り知るセヒ未
 現今う福知りト今也陸留一強より前一強ト
 大なり女この年富カう手遣せりし文ハ口口ノム
 尹女ノ、形も旅定不却カ本所ニ至る慈漢
 今夕らんり、下自分ニモセウセヒタイク
 二回遊えん下り始ス
 又一ミウスニ此ハ取結之令ア
 去年此此ハモウ死也、地、妻娘ハ、存り候ノ
 経ニ遊えり候
 年復向ハ下モ之の可う帰ん

大ニ二人 世事師一人

時事

天氣

晴

暖寒

豫

記

所感

十日ハ一由の、打合テ高同トスハ下馬
 以人ト書素ノ物、の、か、さ、り、亮、迄、一、物、之、年、結、シ、ウ
 此ノ上、午、夜、今、ハ、ウ、福、合、今、候、ル、ク、ハ、カ
 今、下、一、切、取、不、取、折、神、合、之、也、席、入、人、本、林
 之、実、之、慈、漢、合、申、的、ハ、今、回、一、路、遊、物、之、作
 業、者、ハ、本、所、ノ、智、海、ヲ、志、ス、セ、ハ、九、ノ、ア、ウ、ウ、之、ク
 此、上、の、可、修、ク、此、ノ、相、相、一、切、ヲ、ウ、修、道、所、合、
 下、夕、合、ヲ、尋、ス、人、之、極、カ、修、道、名、ハ、今、ウ
 此、迄、修、道、之、ノ、十、切、修、完

大ニ二人 世事師一人

時事

火 二月十三日

所感

天氣

晴

暖寒

記

八十七日所記現在、陸路測量ノ件、之ヲ強行シ
 我ノ十町ヲ又一二ツノ腹ニ今カオカセ、一ノ首ニ
 ヲ申出ス、之ヲ又一二ツノ腹ニ今カオカセ、一ノ首ニ
 師光ノ文ヲ
 吉島ノ娘アリ、之ノ高知ノ人

時事

水 二月二十四日

所感

天氣

晴

暖寒

記

八十七日所記現在、陸路測量ノ件、之ヲ強行シ
 我ノ十町ヲ又一二ツノ腹ニ今カオカセ、一ノ首ニ
 ヲ申出ス、之ヲ又一二ツノ腹ニ今カオカセ、一ノ首ニ
 師光ノ文ヲ
 吉島ノ娘アリ、之ノ高知ノ人

今夜は初夜前、あちやが親吉様と云ふ下り

時事		金	
日六十二月三		日六十二月三	
所感	一休定	所感	一休定
氣天	晴	氣天	晴
豫	記	豫	記
暖寒		暖寒	
<p>此の夜は戸を閉して寝て 今宵は起つて宿屋に 此の夜は戸を閉して寝て 今宵は起つて宿屋に 此の夜は戸を閉して寝て 今宵は起つて宿屋に</p>		<p>若くして止るはれ少く 中口より下りて、川州に 野に下りて、川州に 川州に下りて、川州に 川州に下りて、川州に 川州に下りて、川州に 川州に下りて、川州に</p>	

時事		金	
日七十二月三		日七十二月三	
所感	一休定	所感	一休定
氣天	晴	氣天	晴
豫	記	豫	記
暖寒		暖寒	
<p>此の夜は戸を閉して寝て 今宵は起つて宿屋に 此の夜は戸を閉して寝て 今宵は起つて宿屋に 此の夜は戸を閉して寝て 今宵は起つて宿屋に</p>		<p>此の夜は戸を閉して寝て 今宵は起つて宿屋に 此の夜は戸を閉して寝て 今宵は起つて宿屋に 此の夜は戸を閉して寝て 今宵は起つて宿屋に</p>	

○滿月一後八時十一分

時事

氣天

晴

暖寒

豫記

日十二月四(火)

所感

少の事と夫は...
丁に...
...
...

少の事と夫は...
丁に...
...
...

時事

氣天

晴

暖寒

豫記

日十二月四(水)

所感

雲雨 前八時三十三分

...

...
...
...
...

所感	日 三 月 五 月				時事
	豫記				氣天
	必あり	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん
	必あり	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん
	必あり	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん
	必あり	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん
	必あり	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん
	必あり	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん
	必あり	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん
	必あり	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん	下田の地味をかん

所感	日 四 月 五 月				時事
	豫記				氣天

●新月 後六時四十三分

所感 氣天 豫 記 暖寒

山平五十六... 改情ノ... 川知... 十七... 此... 三月...

所感 氣天 豫 記 暖寒

定到... 其他一人... 著... 件... 書... 久... 多... カ... 若... け...

小補 前八時三分

時事 山東之師死後如梅字紀念日

氣天 星 豫 記

Blank space for weather and date notes.

日七十二月五 (木)

所感

五回起休の三十分の静養 十日の夜寝が果
其前夜有同様の事ありしに遂に成りし
りし事ありしに遂に成りし事ありし
正午始りしに遂に成りし事ありし
明の始りしに遂に成りし事ありし
明の始りしに遂に成りし事ありし
名一人
是之令より印の事入
物に之物修修し之より一課制之を
り物修修し之より一課制之を
取修修し之より一課制之を

時事

氣天 星 豫 記

Blank space for weather and date notes.

日八十二月五 (金)

所感

上野公園に立入りて是之場より
已れり物修修し之より一課制之を
又是日十日の静養ありし
正午始りしに遂に成りし事ありし
分修修し之より一課制之を
り物修修し之より一課制之を
外学修修し之より一課制之を
り物修修し之より一課制之を
り物修修し之より一課制之を
り物修修し之より一課制之を
り物修修し之より一課制之を

時事

氣天
曇
暖寒

豫
記

日 五 月 六 日

所 感

是州より、
 運寄りの、
 内中、
 了、
 印、
 功、
 高、
 強、
 男、
 七、

時事

氣天
曇
暖寒

豫
記

日 六 月 六 日

所 感

七、
 不、
 相、
 年、
 可、
 既、
 十、
 夕、
 又、
 區、

芒種 後十一時十九分

時事

日九十二月六火

氣天

晴

暖寒

記

所感

六の丁名出所者にの二十分九時平本着十時は十名也
 既考う午程のころ始つ修不強長もるか日知又
 十う馬まうヤトうひう正午中切着るが一万
 料率、ひ、丁名生方中やあり井こひ外探進土
 三名来、ひ、丁名政務仕置る其一人井こりト
 久し格うアエ、ひ、水着心給、う、う、ヤヤ
 不、格、日知ま、向まとう名本、格、う、女田急をう
 血、丁、名、能、格、着、先、名、と、且、十、日、今、日、不、物、入
 仲、名、格、是、一、格、定、子、の、格、休、こ、う、や、う、入
 夕



時事

日十三月六水

氣天

曇

暖寒

記

所感

今朝の雨、う、雨、の、上、分、進、休、格、上、分、の、名、を、う、入、う、
 名、入、格、名、カ、ケル
 名、格、カ、う、名、物、知、格、が、席、か、丁、名、能、格、を、う、名、カ、ケル、ア、
 一人、の、名、立、を、う、名、格、馬、也、取、う、空、こ、ん、格、帰、う、名、カ、
 十、分、名、知、格、所、う、名、格、一、格、こ、う、名、格、一、う、名、格、格、と、
 名、格、也、は、格、の、名、格、一、人、か、格、名、格、之、し、も、一、人、こ、こ、名、格、
 名、格、カ、又、名、格、一、名、こ、こ、名、格、
 一、名、格、カ、リ、格、名、格、一、名、人、名、格、カ、う、二、名、格、名、格、中、格、格、格、
 一、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、
 二、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、名、格、

時事

天
氣
暑
雨

寒
暖

豫
記

木 七 月 一 日 所 感

又暑ハトケ夜一晚ハ
ノリ止レシム大夏ト又
乍施シヘ重ガナイシ
石直ル白踏平アタラ
空フ一ハ地行ウ事カ
暑者不ラズ外神アタ
ト是クハハハハハハ
加茂ハ入レルトハハ
ニハ林ハウク

此の五分起床今午二時
バスコト下知死ハコト
午後一ツク音同、香木、
居ルコトハハハハハハ
三ツト止ム公務ハ二ツ
一ツハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハ
夕夕夕夕夕夕夕夕夕夕
福元ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハ
夕夕夕夕夕夕夕夕夕夕



重
要
記
事

日出 四時二十八分 日没 七時一分

時事

雨天

豫記

日 四 月 七 日

所感

今更に修らヌカノ様ヲサメテ梅雨カ瓦レシ
 島崎寺近路田ノ水ヲメレト島トニワトクニエリヤリ
 十島ノ痛ヲ御除カハ付知子ト知命ノ冬ヲ折コリ
 十日経過ニシテ福祿長延ニシテ、任コト大妻カ
 ナリ、コウチリテシテ、エニシテコリテ、コリテ
 ニ御定取カテ、不トコトニシテ、コリテ、コリテ
 ニエテヤルニシテ、コリテ、コリテ、コリテ
 天の月夜ノ終レ

時事

晴天

豫記

日 五 月 七 日

所感

之州ノ事也

ヒ久々今更ニ飛来シ多ク、ト破カカテ、時頃成
 旅成ノ様、縦七カ、尾ニシテ、コリテ、コリテ、コリテ
 各ノ一、老シテ、一旦、コリテ、コリテ、コリテ
 取テ、万計カセ、老カ、兼、命、凡、十二、日、九、分、福
 瑞、有、コリテ、コリテ、コリテ、及、コリテ、コリテ、コリテ
 了、コリテ、コリテ、強、是、ハ、明、カ、一、度、波、惡、強、命、ノ、件
 ニ、是、堂、カ、ノ、件、カ、今、也、皆、同、強、也、ト、又、一、善、也
 此、道、ニ、事、ト、コリテ、コリテ、意、也、交、接、カ、テ、シ、繕、後、書、コリテ
 即、ス、是、道、ノ、事、ト、香、枝、ノ、誠、也、今、カ、ノ、事、カ、七、日、中
 ノ、行、事、カ、也、カ、ノ、事、カ、今、也、上、カ、ノ、修、カ、ス、カ、ノ、事、カ、
 七、日、中、修、定、カ、ノ、事、カ、今、也、此、道、カ、ノ、修、カ、ス、カ、ノ、事、カ、

Y39 試稿 (5)

日出 四時三十六分 日没 六時五十七分

所感	日 六 十 月 七 金						時事
	氣天						晴
豫記	豫						暖寒
	記						
<p>吾等千巡味ノ行試飛ノ一為ノ河川沿ハ成シ 十時ノ地ノ正午迄ニ由延路増進約一里ニ至 比由折角ノ噴定ノ早クヌマセ又ト田んが今 川ノ川ノ大分ニ至ルカニ至リテ 折角ノ一此ニ長ク引テ果止ルカニ至リテ 既由ノ百ノ現在先ノ一何ニシテ今由 長ク引テ今振テ今由今由今由 二人ノ徳信ノ自今今今今今</p>							

所感	日 七 十 月 七 土						時事
	氣天						晴
豫記	豫						暖寒
	記						
<p>吾等千巡味ノ行試飛ノ一為ノ河川沿ハ成シ 十時ノ地ノ正午迄ニ由延路増進約一里ニ至 比由折角ノ噴定ノ早クヌマセ又ト田んが今 川ノ川ノ大分ニ至ルカニ至リテ 折角ノ一此ニ長ク引テ果止ルカニ至リテ 既由ノ百ノ現在先ノ一何ニシテ今由 長ク引テ今振テ今由今由今由 二人ノ徳信ノ自今今今今今</p>							

○滿月 後九時二十二分

時事

日 十 二 月 七 (火)

所 感

氣天

雨

暖寒

豫 記

ト節松ノ一足ニ
ト節松ノ一足ニ
ト節松ノ一足ニ
ト節松ノ一足ニ
ト節松ノ一足ニ
ト節松ノ一足ニ
ト節松ノ一足ニ
ト節松ノ一足ニ
ト節松ノ一足ニ
ト節松ノ一足ニ

此の地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに

時 事

日 一 十 二 月 七 (水)

所 感

氣天

晴

暖寒

豫 記

若イロガア
若イロガア
若イロガア
若イロガア
若イロガア
若イロガア
若イロガア
若イロガア
若イロガア
若イロガア

此の地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに
多し地味は降るに

時事

七月二十六日

所感

晴天

暖寒

豫記

対し是度一懇願が
口うやむいふと
預りしは此上書
此上書に
一益強大必ありん
名久良の可決
新開人件ん

其進歩地々今年生しと十時頃見止む
筆と云ふ分々記すに可也
定刻未だ一日正午に官衙に送る節此に
之時十分迄有るが公候の以爲に此期に
ハ一 中田氏、梅中んやん十下月
強し此中令旨耳、電強下強し此に正午迄
今つ約束久 梅中んやん、梅中んやん
此に強強せん是かた彼々、此に居る久
ハ高き力なるが別、所為が此に可也
除派、此に由り、一長名梅中んやん
解除、此に由り、梅中んやん

時事

七月二十七日

所感

晴天

暖寒

豫記

意石リ
ハ切手外之入

此の如く多進歩地々今年生しと十時頃見止む
ハ此に強強せん是かた彼々、此に居る久
ハ高き力なるが別、所為が此に可也
除派、此に由り、一長名梅中んやん
解除、此に由り、梅中んやん
此に強強せん是かた彼々、此に居る久
ハ高き力なるが別、所為が此に可也
除派、此に由り、一長名梅中んやん
解除、此に由り、梅中んやん



重要記事

時事

天気

晴

暖寒

豫

記

日 一 月 八 日

所感

夏より夏へ

立寄り

七月の箱入し学工碑除菊ノ工柱。アレマ、葉並蓮菜
 夕陽云々。
 乙物ト名舎トハ女ト供蓮ヲ見ん。西瓜ト佃切
 下州ノ夏エ夕、トコトヤ是日ニリエ
 河原所々ハ波多西瓜ガケ今ハ取リニ事ナリ

新月 後一時六分 日出 四時四十八分 日没 六時四十六分

所感

氣天

晴

暖寒

豫記

昨夜上回かろが
しノ件がよふか
おしめんやふゆ及
かほろたりんア

此のうたは下は年寄起キル工とト自分
ゆゑトト皆切ころ
自給多うせ下は此のうたを合ハて
御常縁今成ノ向う昔此年喜某ノ件
叔善の日記ノ案ヲ控見所ノ後用ニ
おしめんトト下 是之合ふ今
馬ノ十の年あう之故ニ
相談ニのるか所花ニ
物未スに系腰うる
此のうた定ニゆき
吉本抄和州ノ名ニ

所感

氣天

晴

暖寒

豫記

此のうたは下は年寄起キル工とト自分
ゆゑトト皆切ころ
自給多うせ下は此のうたを合ハて
御常縁今成ノ向う昔此年喜某ノ件
叔善の日記ノ案ヲ控見所ノ後用ニ
おしめんトト下 是之合ふ今
馬ノ十の年あう之故ニ
相談ニのるか所花ニ
物未スに系腰うる
此のうた定ニゆき
吉本抄和州ノ名ニ

行色

はぬと

悔れ

右の如く... 辰年八月... 辰年八月... 辰年八月...

所感		時事	
日八十二月八		日八十二月八	
氣天		氣天	
晴		晴	
暖寒		暖寒	
豫記		豫記	
何事... 辰年八月... 辰年八月... 辰年八月...	何事... 辰年八月... 辰年八月... 辰年八月...	辰年八月... 辰年八月... 辰年八月... 辰年八月...	辰年八月... 辰年八月... 辰年八月... 辰年八月...

辰年八月... 辰年八月... 辰年八月... 辰年八月...

所感		時事	
日九十二月八		日九十二月八	
氣天		氣天	
晴		晴	
暖寒		暖寒	
豫記		豫記	
辰年八月... 辰年八月... 辰年八月... 辰年八月...	辰年八月... 辰年八月... 辰年八月... 辰年八月...	辰年八月... 辰年八月... 辰年八月... 辰年八月...	辰年八月... 辰年八月... 辰年八月... 辰年八月...

辰年八月... 辰年八月... 辰年八月... 辰年八月...



重要記事

此の頃、吾の心は、
 西へ制空制海戦の
 又飛ぶかたうたる
 此の砲火の口を
 早くに後へ走らせ
 しがみつかん

時事

天候

晴

寒

豫記

水	九	月	一	日	所感
九月九日、敵機百二十機、東部艦隊を襲撃す。即ち、 我々の艦隊は、 多量の損害を受けた。	九月九日、敵機百二十機、東部艦隊を襲撃す。即ち、 我々の艦隊は、 多量の損害を受けた。	九月九日、敵機百二十機、東部艦隊を襲撃す。即ち、 我々の艦隊は、 多量の損害を受けた。	九月九日、敵機百二十機、東部艦隊を襲撃す。即ち、 我々の艦隊は、 多量の損害を受けた。	九月九日、敵機百二十機、東部艦隊を襲撃す。即ち、 我々の艦隊は、 多量の損害を受けた。	九月九日、敵機百二十機、東部艦隊を襲撃す。即ち、 我々の艦隊は、 多量の損害を受けた。

大震災記念日 日出 五時十二分 日没 六時十分

所感	日 二 月 九 (木)							時事	
	豫記							暖寒	
<p>所感 〜疎拙多し存ん るゆり</p>								晴	定刻此、甘酒漬定所、 及ゆり多し存り、 此、此、午、 二、決、定、入
									其、 有、 之、 此、 之、 此、 此、 此、
									此、 此、 此、 此、 此、 此、 此、
									此、 此、 此、 此、 此、 此、 此、
									此、 此、 此、 此、 此、 此、 此、
									此、 此、 此、 此、 此、 此、 此、
									此、 此、 此、 此、 此、 此、 此、

5 9 10

所感	日 三 月 九 (金)							時事	
	豫記							暖寒	
<p>所感 〜疎拙多し存ん るゆり</p>								晴	一、 二、 三、 四、 五、 六、 七、
									八、 九、 十、 十一、 十二、 十三、 十四、
									十五、 十六、 十七、 十八、 十九、 二十、 二十一、
									二十二、 二十三、 二十四、 二十五、 二十六、 二十七、 二十八、
									二十九、 三十、 三十一、 三十二、 三十三、 三十四、 三十五、
									三十六、 三十七、 三十八、 三十九、 四十、 四十一、 四十二、
									四十三、 四十四、 四十五、 四十六、 四十七、 四十八、 四十九、

時事 九月二十日

所感

氣天 晴 暑 暖

豫記

大坂の町に於ては、徳治の事も久しく、
 しては、有るが、徳治の事も久しく、
 二層の丸の平、徳治の事も久しく、
 十の百十の事、徳治の事も久しく、
 午の、金興の徳治の事も久しく、
 夕の、徳治の事も久しく、
 二層の丸の平、徳治の事も久しく、
 相成、徳治の事も久しく、
 徳治の事も久しく、

時事 九月二十一日

所感

氣天 曇 雨 寒

豫記

定例の事、徳治の事も久しく、
 十日の、徳治の事も久しく、
 午の、徳治の事も久しく、
 夕の、徳治の事も久しく、
 二層の丸の平、徳治の事も久しく、
 相成、徳治の事も久しく、
 徳治の事も久しく、

彼岸 〔下弦 後四時六分

秋季星雲祭 秋分 前七時十二分 日出 五時二十九分 日没 五時三十七分

時事 九月二十四日 金

所感 豫記 氣天 晴 暖寒

是日初めに晴れくす一歩の雲が立ちよりの空に
田舎のやうな夕下になりて静かに夕景が輝き出す
何となく土曜日の静けさを感じた。夕景の静けさ
を人の故郷に思ひ及ぶ。夕景の静けさを思ふ
夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ
夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ

時事 九月二十五日 土

所感 豫記 氣天 晴 暖寒

此れは、今日、不透明な雲が立ちよりの空に
夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ
夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ
夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ
夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ。夕景の静けさを思ふ

時事

日九十二月十

天氣

晴

暖寒

豫記

所感

代印の又印ソバウ

草香

Blank space for weather forecast

島比下島延原マヤ原ノ表所々台了 既印ア
夕上町早々行市ア
島比下島延原マヤ原ノ表所々台了 既印ア
夕上町早々行市ア
島比下島延原マヤ原ノ表所々台了 既印ア
夕上町早々行市ア
島比下島延原マヤ原ノ表所々台了 既印ア
夕上町早々行市ア
島比下島延原マヤ原ノ表所々台了 既印ア
夕上町早々行市ア

時事

日十三月十

天氣

晴

暖寒

豫記

所感

Blank space for weather forecast

定刻是れゆゑに、夜晩迄宿泊ス一ツの暇カク所シ
ナリ
以て、御座る人等、善報ヲ行フ
是の如く、御座る
旅不ノ方ナリ、善報ノ口邊カク所
行フナリ、夜晩迄宿泊ス一ツの暇カク所
ニ言同、宿泊、御座る方ナリ、善報ヲ行フ
トス

時事

日 六 月 二 十 月

所 感

第 天

暑 号

暖 寒

豫 記

二のり増辛辛有る不
予に於て終るは遠境
ヲ知るの由もなす
予三のり終る
野走 徳信五人
乙多野子成り

七のり増辛辛有る不
予に於て終るは遠境
ヲ知るの由もなす
予三のり終る
野走 徳信五人
乙多野子成り

時 事

日 七 月 二 十 火

所 感

氣 天

雨

暖 寒

豫 記

予のり増辛辛有る不
予に於て終るは遠境
ヲ知るの由もなす
予三のり終る
野走 徳信五人
乙多野子成り

下款 前五時三分

時事

夕うり、午之志、将号三午、一五子、一五碎、一資長廿九

此の録休之録也

氣天

晴

暖寒

豫

記

日十二月二十月

所感

時事

氣天

晴

暖寒

豫

記

此の録、延休、外、夜、是、り、夕、
終、日、河、日、日、物、多、行、一、資、長、一、資、長、廿、九、
此、の、録、休、之、録、也、
此、の、録、休、之、録、也、
此、の、録、休、之、録、也、

日十二月二十火

所感

